

自然感

# くすのき

yumi



## 季節感

鬼百合や 今開かんと 二つ  
三つ 静山  
花びらを軟らかく揉み、元の  
ほうから息を吹き込み風船を  
作って遊んでいた...

『オニユリ』

平成20年8月1日

早良区南庄室見団地

大塚俊樹



## 熊洞居人独言

# 29

ついに北京オリンピックの開催日となった。北京市ではオリンピックに向けてテロ対策と併せて、厳しい交通規制が行われている。これは車からの排気ガスによる大気汚染を防ぐためである。クマは1984年(24年前)に始めて夏の北京市を訪れた。この頃の北京市内は自転車で溢れていた。殆どの市民が通勤・通学・買い物等の日常生活で使用する乗り物は自転車であった。夜10時頃になると天安門に面した道路など、街の中心部の道路は人影は皆無で時折スモールライトのみを付けた自動車を通り過ぎていた。なぜ、スモールライトのみか訪ねると、街灯の明かりがあるのでライトを付ける必要はないとのことであった。数年後、春に北京を訪れると自動車が増え空がどんよりとしていた。さらに、1990年代初頭に勤務先の学校が北京への修学旅行を行うようになり秋に生徒を引率して訪れたところ、自動車がさらに増えガソリンの臭いが立ちこめていた。さらに、暖房のため石炭を焚くことから上空は排気ガスが立ちこめ黒灰色に雲っていた。しかし、街の郊外に出ると秋晴れの晴天であった。つまり、街中は大気汚染物質を多く含むスモッグに覆われていたのである。近年、日本では海を渡ってくる大気汚染物質の影響を心配する声が高くなっている。

しかし、クマは1970年代初頭までの日本も同じ状態であったことを経験している。鹿児島本線の列車に乗って東に向かい、城山トンネルを通りすぎると空はどんどん曇ってきていた。北九州工業地帯の煙突からの煙のせいであった。また、北風の吹く天気の日には宝満山へ登ると、山頂付近はガスがかかっており煙の刺激臭がすることもあった。糟屋炭田からの石炭を燃やした排気ガスが漂っていたのである。このため、仏頂山の北側尾根に生えていたモミの大木群は1980年代初頭までに、上部3分の1は枯れ木となってしまった。その後、1990年代初頭の台風で倒れてしまい消滅した。

1970年代の日本は4大公害病で世界に知られていた。四日市喘息(排気ガス)、水俣病(有機水銀中毒)、イタイイタイ病(カドミウム中毒)、PCB中毒である。日本人は世界のカナリアと言われていた。クマは、これらを克服した環境技術を中国を含め世界に知らせる義務があると考えている。

## 北九州/皿倉山・権現山での観察会のお知らせ

権現山の皇后杉をぜひ見てほしくて10月12日(日)観察会を予定しています。集合場所を八幡駅とケ〜ブル駅のどちらにしようか迷っています。集合時間は9時、ケ〜ブルで上がる人と、車で上がる人によって、合流はどうなるのかなど、まだ煮詰まっています。次回までには決めておきます。以上

北九州市在住 佐々木良子

## 事務局からのお知らせ

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎号掲載しています。

(<http://www.kurabird.com/> (自然案内舎(有)クラブードHP)のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。)

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい(連絡先は、会報奥付をご覧ください)。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。

**お願い** 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげてください。経費節減のためです。宜しくお願いします。

## 第6回 「総合的な学習の時間」と「曾根干潟のカブトガニの産卵を中心とした生活」

國廣 勝

### (13) 【産卵直後の卵】

産卵中に場所を確認しておき、干潮になって子ども達と砂の中の卵を調べてみました。深さはやはり十三センチ位なのですが、卵塊の周りを壊さないようにそっと掘り下げていくと、卵の周りだけ砂の粒子が粗く、スカスカなのです。ひょっとしたら前項の勢い良く吹き出す「砂煙の噴流」の影響が、こんなところに効いているのかもしれませんが。卵塊の大きさは、ほぼこぶし大で、一ヶ所に四~五百粒くらい産んだら、少しずつ前進し、十四~五センチおきに距離をおきながら、危険を分散して産んでいきます。卵の大きさは約三ミリで、余り強くはつまめませんが、いづらか弾力があります。卵の色は薄く緑がかった黄色味をおびています。



### (14) 【産卵後二十日前後の卵】

産卵後二十日を過ぎる頃、すでに黄緑色の硬い「外卵殻」は弾けています。中には透き通った「内卵膜」につつまれて、しっかりと保護され発生の進んだ幼生が、すでに中でクルリクルリと動いています。この透き通った膜は非常に強じんな「半透膜」で、干潮時には海水のない陸地の砂の中でも卵を育む為、満ち潮の時海水を吸収して、そのなかで胚の成長に合わせて膨らんでいくのだそうです。他の生き物の卵と違って、卵自体が成長する謎がよく分かります。孵化寸前の卵の大きさは六~七ミリまで膨らんでいます。



### (15) 【産卵後約二十五日の回転卵、透過光撮影】



産卵後、ほぼ二十五日を経過している卵を少量採集し、卓上で後ろから光を当ててビデオ撮影を試みました。写真はその時のひとコマです。観察不可能ではなくて、子ども達全員に現場でじっくり、こんな場面を観察してもらおうのが最高ですが、時間と現場の広さ等の関係で素早く交代して見てもらうくらいしか出来ませんが、中で幼生がクルクル回転しているのが観察出来ると、子ども達の目がいちだんと輝きを増し、とても感動的です。しかも孵化して出るまでに、卵の中で四回も脱皮すると聞いてはただただ驚くばかりです。

### (16) 【夜の満潮時孵化した一齢幼生が、ひき潮に乗って干潟へ分散する】

カブトガニの卵の孵化は五十日前後といわれます。八月中旬以降に産み込まれた卵が孵化するのは十月の上旬になってしまうのですが、水温低下の為に恐らく孵化しても砂の中から脱出の機会はなく、産卵場所でそのまま越冬するのではないのでしょうか。写真のように一齢幼生がかたまると干潟へ分散していく様子は、人為的に光源を照射した場合で、自然の状態でこのような場面を観察出来る事は、とても難しいのではないかと思います。この写真は六月上旬に産卵したもので、八月はじめに孵化して砂の中から這い出し、たまたま浅い海底に着床していたものが、撮影用ライトに誘発されて、一気に浮上したものです。光りの中心を外すとその場で沈降していくものや、背泳ぎをしながら波に乗って流されていくものもありました。



**日本野鳥の会福岡支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

8 / 17 (日) 9 / 21 (日)  
天拝山探鳥会（筑紫野市）  
時間：9:00～12:00  
集合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：092-920-7112（山本勝）

8 / 23 (土) 9 / 27 (土)  
久末ダム探鳥会（福岡町）  
時間：8:00～11:00  
集合：久末ダム多目的広場横駐  
車場（管理事務所下）  
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

9 / 7 (日)  
今津探鳥会（福岡市西区）  
時間：9:00～12:00  
集合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005（神園道男）

9 / 13 (土)  
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
時間：9:00～12:00  
集合：ポート乗り場前  
092-573-1827（森健児）

9 / 14 (日)  
和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
時間：9:00～12:00  
集合：JR 和白駅前公園  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）



**日本野鳥の会筑後支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

花立山、高良山、濃施山公園の探鳥会は  
7月と8月はお休みです。



**福岡植物友の会 主催**

8 / 17 (日)  
背振山山麓 / 椎原  
ツリフネソウ、ヌスビトハギ  
詳細は：092-947-6536（大吉博子）

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

9 / 13 (土)  
川沿いを歩こう  
時間：9:30～12時30頃  
集合：小郡市津古駅東側  
問合せ：092-920-3072（松永）  
要 保険料

要：保険料  
エフコープさんの環境助成金で自然  
観察冊子ができあがりました。冊子は  
観察会のたびに配布します。欲しい方  
は観察会にご参加ください。



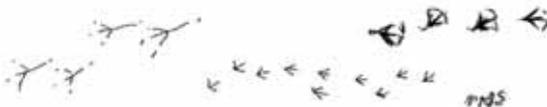
**和白干潟を守る会 主催**

8 / 23 (土)  
守る会定例会議  
時間：10:30～12:30  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本弘子）

8 / 23 (土)  
クリーン作戦 と自然観察会  
時間：15:00～17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

**久留米の自然を守る会 主催**

9 / 13 (日) 第361回例会  
筑後川観月会  
お抹茶をいただきながら、月や星の  
観察をします。月面観察の指導は吉  
田哲磨氏です。  
時間：19:00～21:00  
参加費：300円  
問合せ：0942-46-8622（古賀）



**福岡市油山自然観察の森 主催**

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事实施日・住所・氏名・年齢・  
電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

8 / 17 (日)  
しぜんとあ・そ・ぼ  
レンジャーと一緒に森にでかけ、五  
感で自然を感じる楽しい遊びを行  
ないます。  
1日3回実施 各階1時間  
11:00～ 13:00～  
15:00～  
対象：一般  
申込み：不要  
定員：各階30人（先着順）  
雨天実施

問合せ：油山自然観察センター  
参加費：100円  
〒811-1355  
福岡市南区松原夫婦石 855-1  
TEL：092-871-2112  
開館 9:00～16:30（月曜休館）



## 報告 小笹小学校5年生の自然観察会(2008年6月26日) その2

### 【松下彩二】

「鴻巣山の生き物」グループ担当 午前前半1・2組、午前後半3・4組の2回

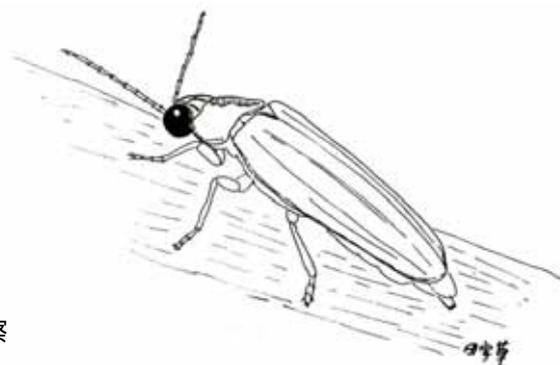
「生き物」という大きなテーマだったため、木々の緑と土の茶色、その循環といった足下の部分の実感を中心に歩いた。子供たちは「生き物」の中でも昆虫探しに期待もあったため、話題のピックアップはそれに配慮した。

#### 前後半共通提供事項 危険な生き物注意

外側から見た山の木々の緑を確認し、森と人、二酸化炭素と酸素、地球温暖化など子供たちも関心のある話題提供  
森の中で落ち葉を1枚ずつ捲ってどこからが土かみんなで判定し、木々の緑の栄養となって行く土の茶色と臭い確認。その時に活躍する菌類や土壌生物なども観察。 緑から茶色、そしてまた緑リサイクルの無駄の無い素晴らしさ体験(両班とも大好評)

以下子供たちと一緒に発見し話題にしたことや生き物(順不動、記憶抜粋)

- ・朝のうち特に森の中は気温が低く(20度C程度)、あまり活発に動くものが見られない
- ・ホコリタケの仲間は認知度が高いようで多少話題に
- ・キノコを食べている小さな生き物がいる
- ・巣穴をついているコゲラ(後半班じっくり観察) ・シテムシの仲間
- ・トビズムカデ死骸で足の数観察 ・オカダンゴムシ 判別
- ・カブトムシやクワガタなどが好むコナラの木チェック(幹や葉の観察)
- ・ザトウムシの仲間は両班とも発見(座頭市はやはり通じず)
- ・カクレミノ(小木)の葉観察 誰がここに運んで来たか推理
- ・ヤマノイモの葉試食 粘り気と味でやっぱりヤマイモだと納得
- ・ヤスデの仲間の幼体観察 半透明でも少し硬い鎧 ・フタホシテントウ観察
- ・アオスジアゲハ、ナミアゲハ飛翔 ・去年のドングリから根が生えている
- ・ヤマチャバネゴキブリ などなど



**感想** 子供たちが最も期待していた甲虫、チョウ、トンボなどは、あまり数多くは見られなかったものの、いろいろな生き物を見つけては「これは何ですか」と尋ねて来た。やはり目が良い。

人気のある虫が出なかったおかげで、「緑の葉っぱが落ちて土に還り、その土を栄養にしてまた木が元気に茂る」現場をしっかり体感できた。積もった葉を1枚ずつ捲って「どこまでが落ち葉で、ここからが土?」という地味な観察にも、積極的に「ここから!」「いやこの下から!」と声が飛び、分解をしてくれる菌類や小さな土壌生物、ついでにカラスやシテムシ、アリといった掃除屋さんに脚光を当てた話も一緒に熱心に考えてくれたのは少し意外だった。

「図鑑博士君」もいれば、おじいちゃんが猟師で毎年山に入るといふ子もいてなかなかのツワモノ揃いで、タラの木を見つけてくれたり、寄生植物の話題でヤドリギの例えを挙げてくれたりとこちらがタジタジという場面もあってとても楽しく観察できた。

### 【矢野郁子】

平尾大池の全体を見渡せる所からの観察は、これからの勉強の全体も、また場所の全体をもつかむ事ができ(私が一番)話もよく理解ができたようでした。

川の存在については、まったく頭に無かったようで、小さな川を見た時「エッ!これ川?」と言ってみていました。…日頃、目にしない川は、全く気になっていないし、同時に「水」に対しても、どの程度、生活の中で思っているのだろうと思いました…

ヒシの観察は、とても驚きだったようです。うきぶくろの存在も、根の働きも、「へー植物ってすげー」の一言。茎の断面を実体鏡で見た時のくいいような眼。次のマコモやガマに関して進んで観察。水性植物の工夫の様に、夢中でしたね。

種の不思議にも目を見張り、ギシギシ、カヤツリグサ、ガマ、シナサワグルミと、どんどん見せてと持ってきていました、…小さな声で「こんなに沢山の種、みんな芽がでたら…」なんて話も。興味、関心の深まりも楽しみです…

何気なく生えていて、誰も振り向かないような植物が、ほんの何十年か前まで(私たちの小さい時そうだったよー。)実際生活の中で、薬に、食べ物に、遊びに、生活に使われていたことを熱心に聞き止めていたのが、印象的だった。

2008.6.30 矢野郁子





ジュンサイハムシの卵、食われたような葉の穴は、この幼虫の食べた痕のようです。

## お知らせ

### 100年後に残したい福岡の里地里山フォトコンテスト作品 大募集

募集期間 平成20年7月10日(木)～10月31日(金)  
 主催 福岡県 問い合わせは、福岡県自然環境課 電話092-643-3367  
 ホムページ 福岡県自然環境課 検索し参照してください。

### みなまた環境大学 短期セミナー受講者募集

期日 平成20年9月15日(月)～20日(土)5泊6日  
 場所 水俣市内 受講料 15000円/宿泊料別途 募集人数 30名程度  
 締め切り 平成20年8月末日 当日消印有効  
 問い合わせ先 みなまた環境大学事務局(水俣市環境対策課内)  
 電話0966-61-1612 FAX0966-63-9044  
 月から金曜日の8時30分から17時30分  
 主催 水俣市・みなまた環境大学実行委員会 後援 環境省・熊本県



### 三国丘陵の自然を楽しむ会の発行物のお知らせ

CD 「ムヨウランの森便り」 価格1000円 + 送料(140円)  
 「ウスギムヨウランの1年」(10p)、「ホンゴウソウの1年」(11p),  
 「この森や林縁で見られる生きもの」(20p)の3部構成からなっています。  
 松永が2006年にみつけたウスギムヨウランとホンゴウソウをその後1年間  
 追跡調査して得た画像データで、21世紀の初頭に福岡県にこのような森が  
 あったことの記録です。  
 申し込みは [mikuni@room312.com](mailto:mikuni@room312.com) 追って担当者から連絡します。あるいは、  
 ナイス福岡事務局からも取り次ぎします(電話とFAXは別ページ参照)。



インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

### 会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783  
年会費：2000円

### 皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

### 定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで 自然案内舎(有)クラブ内にて行っています。会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおしを心よりお待ちしております！  
次回の定例会は、2008年9月12日(金)午後6時より事務局で行います。9月号の原稿は、8/31(日)までに届くようお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

### 他団体の会報の紹介

- ・自然観察指導員熊本県連絡会 自然観察 第123号(08.07.07)
- ・福岡県NPO・ボランティアセンター コンテ11 Summer 2008
- ・福岡県第3次福岡県青少年プラン2008～2012  
21世紀を担う、たくましくいアンビシャスな青少年の育成
- ・九州環境教育ミーティング実行委員会  
2008九州環境教育ミーティング in 가고しま 活動報告集  
集落力 持続可能な集落を支える人々  
ナイス福岡も広告協賛しています。



# これは何だろう!?



これは何だか  
解かりますか？

《前回(第156号)の解答》  
浜辺にたくさんいる「フナムシ」の顔でした。藻からいろんな死体まで雑食性の掃除やさんです。イギリスでは「埠頭のゴキブリ」というそうです。そういえば動きはそっくりですね。

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)  
代表：冷川昌彦 / 事務局長：小野 仁 /  
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子 / 会計：宮原俊彦  
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号  
ハイツ中村401  
自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX : 092-4000-1765  
URL : <http://www.kurabird.com/>  
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

**編集後記** 2008年7/11定例発送会は、大塚俊樹・山本勝・鶴田義明・田村耕作が参加。藤川渡から欠席の連絡。MYからいきなりだんごの差し入れあり。夏真っ盛り、自宅を含めまわりからアブラゼミやクマゼミの鳴き声で夏を一杯感じています。でも、先日油山市民の森でツクツクハウシの声、次の季節を予感。

田字草

